

受講生No.

令和 年 月 日

殿

受講料助成申込書

令和6年度東京都国際手話普及促進事業補助金交付要綱の規定に基づき、確認事項を理解した上で、必要書類を添付し、下記のとおり受講料助成を申し込みます。【本人直筆】

フリガナ	
氏名	
住所	
メールアドレス	
受講者区分	☐ 都内在住 ☐ 都内在勤 ☐ 都内在学 ※裏面を参考に該当区分の書類を提出してください。

【確認事項】（確認後☑をお願いします）

- ☐ 2025年に東京で開催される東京2025デフリンピック（以下「大会」という。）において、国際手話人材やボランティア等、大会運営に参画する意思があります。
- ☐ 大会の国際手話人材やボランティア等の募集に際し、氏名及びメールアドレスを東京都生活文化スポーツ局及び大会運営組織（一財）全日本ろうあ連盟、（公財）東京都スポーツ文化事業団）に提供することに同意します。（氏名及びメールアドレスは、東京都生活文化スポーツ局において適切に管理し、本目的以外では使用しません。）

講習会名 (コース名)					
講習会区分	☐ 国際手話技術の習得を目標とした講習会（補助率：1/2） ☐ 国際手話通訳スキルの習得を目標とした講習会（補助率：全額 ※）				
講習期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ※上記期間と重複する他の講習会に本助成を申込みはできません。				
受講料 (A) (※1)	円	補助率 (B)	1/2・全額 (※2)	助成申請額 (A×B)	円

(※1) 助成対象となる受講料は、1時間あたり2,000円×総講習時間を上限とします。

(※2) 全額助成を申請しても、講習会終了時の修得確認テストで講習会目標に未達成となった場合は1/2の助成となります。

【補助事業者記入欄】

講義 回数	回	出席 回数	回	修了 要件	可／不可	修得 確認 (※1)	達成／未達成
助成対象 受講料 (A)	円	補助率 (B)	1/2・10/10 (※2)	助成額 (A×B)	円	振込 手数料	円

(※1) 国際手話通訳スキルの習得を目標とした講習会の場合のみ。

(※2) 修了要件が可で、修得確認テストの結果、講習会目標を達成した場合は全額、未達成の場合は1/2補助

受講料助成に必要な書類

本人確認書類及び受講者区分（都内在住、在勤、在学）を確認する書類が必要になります。
該当する箇所に☑し、必要書類がある場合は補助事業者に提出してください。

1 令和6年度の本助成申込の状況と提出済み書類の変更有無について

- ☐ 今年度の申込は初めての方（令和5年度に申し込んでいても、令和6年度に初めて申込む人を含む）
⇒2に進んでください
- ☐ 2回目以上の申込みの方
- ☐ 既に提出した本人確認書類及び都内在住・在勤・在学を確認する書類に変更はない
⇒追加書類の提出は不要です
- ☐ 既に提出した本人確認書類及び都内在住・在勤・在学を確認する書類に変更がある
⇒2, 3に進み、変更がある書類を提出してください。

2 本人確認書類

	区分	主な例	
☐	区分A 官公署が発行した身分・資格 証明書（顔写真付き）の写し	運転免許証、マイナンバーカード（表面）、在留カード、身体障害者手帳、パスポート	・いずれか1点 ⇒ 3へ
☐	区分B 官公署が発行した身分・資格 証明書（顔写真なし）の写し	国民健康保険・健康保険・船員保険・介護保険又は後期高齢者医療の被保険者証	・区分Bから2点 ⇒ 3へ ・1点のみの場合 ⇒ 区分Cへ
☐	区分C A・B以外の特定の本人名義 の書類の写し	国税又は地方税の納税通知書、公共料金領収書、法人が発行した身分証明書（顔写真付）、学生証（顔写真付）	・区分Bに加え1点 ⇒ 3へ ※区分Cのみ2点不可

3 受講者区分に応じた確認書類

※複数区分に該当する場合は、番号が小さい区分を優先（例：都内在住・都内在勤の場合は①）

① 都内在住

☐	本人確認書類に都内住所の記載がある → 追加書類不要	
☐	本人確認書類に都内住所の記載がない →本人の名前、都内住所の記載がある書類（写し）の提出が必要	【提出物名を記載】

② 都内在勤

勤務先 名称	
勤務先 住所	
都内在勤証明書類 （いずれか1点）	☐ 在勤証明書（勤務先の住所が記載されているもの） ※任意様式可 ☐ 社員証（勤務先の住所が記載されているもの）の写し

③ 都内在学

通学先 名称	
通学先 住所	
都内在学証明書類 （いずれか1点）	☐ 学生証（通学先の住所が記載されているもの） ☐ 通学証明書（通学先の住所が記載されているもの） ※任意様式可